

令和6年度山口市美術展覧会講評

大賞

「生命の樹. インド更紗」

小田 伸次郎



赤地に金模様の更紗を背景に人物二人が描かれる。更紗の模様は草花に鳥が飛ぶ豊穡のモチーフで、全体に細かな縦長の線を用い表現されている。縦長の線は人物の肌や衣装にもみられ、反復された描法により画面内の統一感が生まれている。また赤と緑、緑と赤紫、あるいはピンクと水色と、対照色を意識的に配しているが、金の有効的な使用により調和がとれ、結果的にそれぞれが互いに引き立てあう効果をもたらしている。配色や描き方の工夫が相乗した、実に美しい力作である。

(関根 佳織)

準大賞

「metamorphose」

西田 伊吹

生成AIの到来によって知識・技術が無くとも表現できるこの時代、これだけの密度で制作する作者の熱量に感服する。「デジタル」をモチーフにしている点も、AIに対するアンチテーゼを彷彿とさせていて興味深い。作品名は「変容、変身、転生」などを意味する言葉。「写真表現とイラストレーション」、「デジタルメディアを油彩で表現」…多様な表現を駆使して描きだされた「metamorphose」の「未来」が気になる次第である。

(小橋 圭介)



山口市教育委員会賞

「刺しゅう→複写→包装」

神無月



インバーダー、ルービックキューブ、風車、何と楽しい世界が広がっているのだろう。布に刺しゅうした、図案化された形の美しさは、鑑賞する者の眼と心を魅了するのだ。そして、その布を使って宝石箱を包む構想は、立体感が増した作品となった。

日常生活の中で何げなく使われている白布と糸を、芸術性を持って結び付け、ワクワク感を表出させる才能は見事である。一針一針の表現は誠に小さな一歩だが、それらが集まると、こんなに人を感動させるとは。ありがとう。

(松田 鶴信)



山口文化協会賞

「閑寂」

徳永 和代

ひっそりと佇む朽ちた土蔵を画面いっぱいに描いた作品である。大きな画面からは土蔵の建物からの圧迫感は感じられず、彩色表現を極力抑えながら、墨色の濃淡を巧みに使って、空の明暗や建物の質感、奥行きなどを見事に表現している。モノクロ写真のような白と黒の階調により、タイトルにあるような物静かで趣のある画面に仕上がっている。かつてそこで人々の生活の営みがあったであろうことが想像され、作者のそうした過ぎ去ってしまった暮らしへの深い思いが感じられる。

(後藤 修)

おごおり文化協会賞

「宿根 (タンポポモドキの根・秋)」

山根 みどり

根の部分の接写した、観る者を惹きつける作品である。根は本来、地中にあるが、そこに強く光を当て、つまり、照射することで根の1本1本を生々しく表したところに面白さを感じた。また、背景が暗闇であり、まるで宇宙の中に浮かんでいる物体のようにも見える。構図的には根の白いトーンを線でつなげ、輪の部分を中心から外しているところにも工夫が見られる。根が伸び絡み合う形態をそのまま写し取ることで生命の歩みと自然の根源的な力を感じさせてくれた作品である。

(難波 章人)



奨励賞



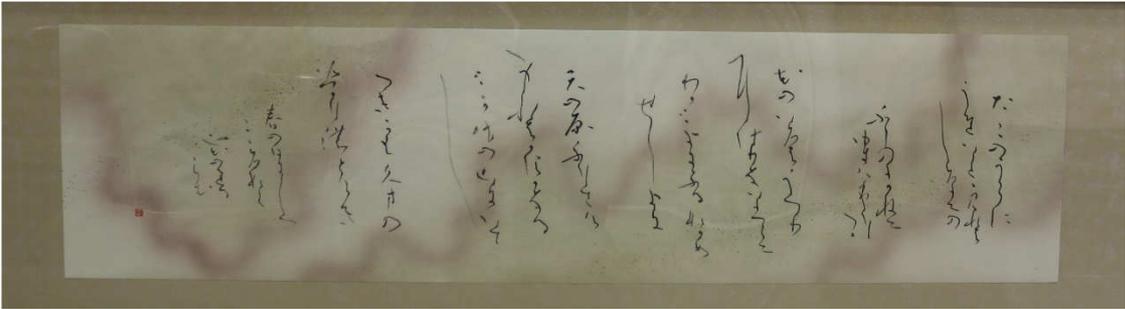
「交信」

伊賀 晶子



「思い出の木」

原田 美知子



「百人一首」

関谷 富美代



「しわよせ」

秋山 きらら



「萩茶碗」

西林 美奈子

審査員特別賞



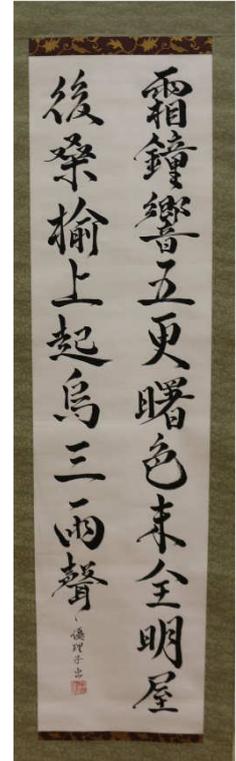
「労る」

村田 賢二



「田水張る」

竹本 寛子



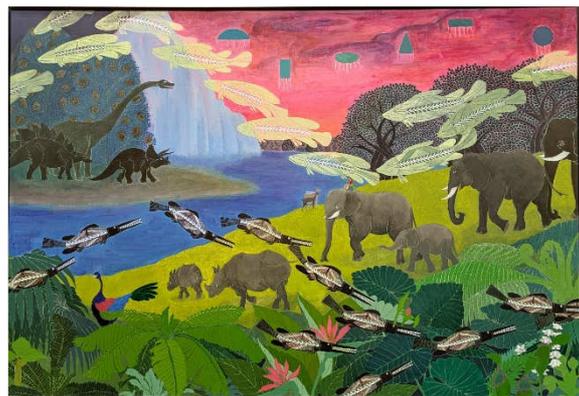
「虎関師鍊」

廣澤 優理子



「追憶」

黒田 悌弘



「ゾウは何処から来たのか・朝焼」

ゆうむら としこ

◆ 総評

所狭しと並べられた皆さんの応募作品143点。一点一点ジックリ鑑て回るとは何と楽しいことか。

しかし、これからが厳しいのだ。五人の審査員で意見を出し合い、賞を決めなければならない。作品から聞こえて来る作者の思い。画面から訴える主人公の叫び、感じます。今や地球上で色々な事が起きている。皆さんの内なる気持ちは作品に表現できたか。でも難しく考え過ぎることはない。得意ジャンルで技（わざ）の昇華も心に迫るものがある。皆さんの勝負する題材や素材にハッとさせられる。それなのに本の僅かな差で賞が決定する。

安心してください。あなたの作品は、審査員の心を充分揺さぶっている。鑑に来られた方のところに届いている。

どうぞこれからもあなたの思いを作品を通して発表していただきたい。継続してゆくことが生きている証査だ。今年も14才～90才の方々本当に素敵な作品を有難う。

（審査委員長 松田 鶴信）

（審査員）

小橋 圭介	山口県立大学国際文化学部准教授
後藤 修	山口県立美術館学芸専門監
関根 佳織	下関市立美術館学芸員
難波 章人	山口芸術短期大学准教授
松田 鶴信	書家・山口東京理科大学非常勤講師

（五十音順・敬称略）

令和6年度山口市美術展覧会受賞者一覧

賞	部門	作品名 ふりがな	作者氏名 ふりがな (敬称略)	年齢
大賞	絵画	せいめいのき いんどきらさ 生命の樹. インド更紗	おだ しんじろう 小田 伸次郎	74
準大賞	絵画	めたもるふおーぜ metamorphose	にしだ いぶき 西田 伊吹	18
山口市教育委員会賞	デザイン	ししゅう→ふくしゅ ほうそう 刺しゅう→複写→包装	かなづき 神無月	73
山口文化協会賞	絵画	かんじやく 閑寂	とくなが かずよ 徳永 和代	74
おごおり文化協会賞	写真	しゅっこん 宿根(タンポポモドキの根・秋)	やまね みどり 山根 みどり	63
奨励賞	彫刻	こうしん 交信	いが あきこ 伊賀 晶子	55
//	工芸	おもいで 「思い出の木」	はらだ みちこ 原田 美知子	78
//	工芸	はぎちやわん 萩茶碗	にしばやし みなこ 西林 美奈子	78
//	書	ひやくにんいつしゅ 百人一首	せきたに ふみよ 関谷 富美代	63
//	その他	しわよせ	あきやま きらら 秋山 きらら	33
審査員特別賞	絵画	いたわ 労る	むらた けんじ 村田 賢二	74
//	絵画	たみずは 田水張る	たけもと ひろこ 竹本 寛子	66
//	絵画	つひおく 追憶	くろだ よしひろ 黒田 悌弘	85
//	絵画	ゾウは何処から来たのか・朝焼 どこからきたのか・あさやけ	ゆうむら としこ ゆうむら としこ	65
//	書	こかんしれん 虎関師鍊	ひろさわ ゆりこ 廣澤 優理子	17